

島田二郎 （註） 政治家。嘉永五年十一月七日江戸生れ、大正十二年

十一月十四日没（八五—一九三三）。舊姓鈴木、幼名鐘二郎。號沼南、別

名嶋田二郎、武藤二郎、S・S生。沼津共學校、大學南校、大藏省附

屬英學校に學ぶ。明治六年「横濱毎日新聞」記者、のち主筆兼社長。

十二年文部權入書記官、二十二年衆議院議員（當選十四回）、大正四

年衆議院議長。足尾銅毒事件・シータンス事件の追及、當選法案演説

激辯運動などで有名。「島田二郎全集」全五卷（大正十二年—十四年

島田二郎全集刊行會、警興社書店發賣）がある。

譯著書、ベンサム著「法論綱」全二冊（重譯、明治十一年九月元老

院藏）、トーマス、ヘンリー、ダイター著「世界通鑑」（譯、卷之

一・明治十六年五月二十一日出版、卷之六—青木匡共譯・十月二十

一日出版、卷之七—肥塚龍共譯・十一月二十日出版、卷之拾貳—

青木鈴木良輔共譯・十七年四月二十日、卷之拾八・十月、卷之廿五・年月

白無記・輿論社出版部）、（明）「治草論新編」（合著・栗田素一編、明治

十七年二月樂成舎）、（と葉）「内地雜居論」（と葉、岡村梅太郎筆記・附（谷）村

新大居士論文・肥塚龍校正、明治十九年十一月巖々堂）、（現）「大衆演説

論集」（合著・柳原政登編、明治二十年八月巖々堂「講談演説集」）、

「國民之友・第一集」（合著、明治二十年十一月上田捨吉編輯出版、

大阪・國友館）、（隨）「大衆實地演説集」

（合著・櫻井鎌造編、明治二十一年二

月）、「石川傳吉刊、正文堂發兌）、「開

國始末—井行直彌傳」（合本・明治一

十一年二月）、「石川傳吉刊、輿論社發兌）、

島田二郎著

條約改正論 全

東京書肆 博文堂出版

『條約改正論』(明治二十一年十一月)二十一年自由博文堂、郁文會發兌)、

『^{第一}辨國會如木』(合著・議員集會所編、明治二十四年五月十日博文

館)、『先覺詞藻』(合著・進藤信義編、明治二十四年十月十一日大阪

鍾美堂書店・鍾美堂支店)、^男『女學生氣質』(附『女學生消息法』)(合著

・新八公論社、高島大圓編、明治二十九年二月)二十九日^{鶴聲堂書店}別堂、

『我半生の奮闘』(合著・井上泰三編、明治四十一年十一月)二十八日

博文館)、『新論語』(合著・成功雜誌社編、明治四十一年六月十日

成功雜誌社)、^{現今}『呼吸靜座法』(附『各士實驗談』)(合著・高築初

治郎編、明治四十五年四月)二十四日春風社)、『ピット』(東原元吉

共著、大正四年八月十日自由博文館、傳叢書)、『日本改造論』

(大正十年十一月)二十日^{東澄正義}際文堂、^{朝鮮問題}『朝鮮問題講演集』(合著、大正

十一年十一月)自由研究社、『鮮滿叢書』)等。

文獻、高橋昌郎著、中島田二郎(日本政界における人道主義者の生涯)』

(昭和)二十九年九月)二十日基督教史學會)等。